

第40回原状回復対策協議会(3月20日開催)について

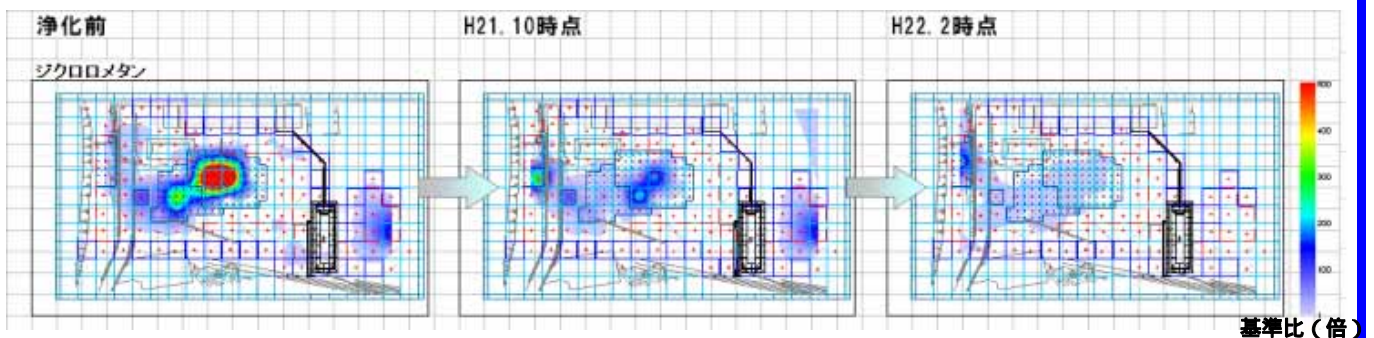
3月20日に開催された原状回復対策協議会の内容についてお知らせします。

1. 廃棄物掘削・搬出状況について

平成21年度の廃棄物の搬出は3月19日に終了し、51,307tを搬出处分しました。平成21年度の目標処分量48,000tに対し、107%の実績となりました。

2. 汚染土壌対策について(N地区)

揚水ばっ気により一部区画を除き、すべての汚染物質が当初の計画どおり低減しました。(下図はジクロロメタンの低減状況)これらの区域については、今年度からバイオ浄化に移行します。



(図.浄化開始とともに高濃度区画(赤~緑)が低濃度(水色)に浄化されています。)

また、現在バイオ浄化を行っている区域についても、対象区画の約4割が環境基準以下まで浄化されています

3. 環境モニタリング結果について

1月は通常のモニタリング項目の他に、昨年11月に新しく環境基準に追加された、「1,4-ジオキサ」、 「塩化ビニルモノマー」について測定を行いました。

その結果、現場周辺環境水1箇所から、1,4-ジオキサ 0.20mg/lが検出されました(環境基準値0.05mg/lの4倍に相当)。また、場内地下水でも、1,4-ジオキサ、塩化ビニルモノマーにつて環境基準を超過していました。

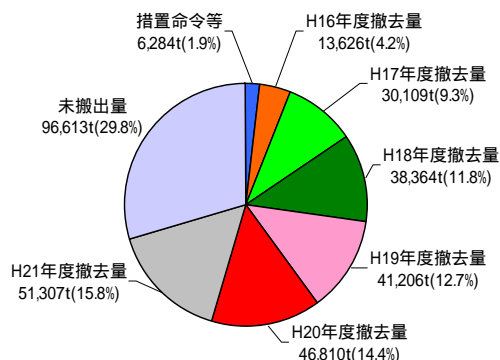
1,4-ジオキサの対応として、場内地下水のうち、濃度が高いものは廃棄物として委託処理(太平洋セメント)、濃度が低いものは場内で処理し放流することを基本としながら、状況に応じて対応を検討することとしています(本年度から毎月、水質調査を実施)。

また、塩化ビニルモノマーは、テトラクロエレン等VOC化合物の分解過程で生成されるものであり、場内での土壌浄化の進行に従い、無害なエチレンに分解されるものと考えています。

廃棄物の撤去状況について(平成22年3月末現在)

表:21年度の月別撤去量

	撤去量(トン)	進捗率(%)
4~9月分	24,236	
10月分	6,834	
11月分	6,165	
12月分	5,110	
1月分	2,765	
2月分	3,518	
3月分	2,679	
合計	51,307	107



3月末までに、岩手県側の推定総量 324,320 トンのうち、227,706 トン(70.2%)を撤去しました。

平成21年度撤去目標 48,000トン